

## 令和2年度 事業報告

本年度は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、日本の経済活動は、雇用問題をはじめとする社会経済活動に大きな影響を受けたところです。

このような中、国においては、少子高齢化が進展し、人口が減少しており、働く意欲のある高齢者が、年齢にかかわらず生涯現役で活躍し続けることを強く求めています。

当町においては、65才以上の割合が令和3年3月末31.4%、昨年より0.2%増加しています。また、当センター会員の平均年齢は74.7才、75才以上の占める割合は、43.7%であります。地域社会の支え手として、就業機会を提供することにより高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、生涯現役社会の実現を果たす役割を担っており、シルバー人材センターの果たす役割は、今後も大変重要となっております。

こうした中、当センターでは、新規会員の加入促進および退会の防止に努めてまいりましたが、コロナ禍の影響もあり、令和3年3月末の会員数は229人、前年度より3人の減となりました。

事業状況については、事業契約額80,871千円、前年比92.5%、派遣契約額は20,081千円、前年比103.8%、前年度と比較しますと、契約額全体で、100,952千円、前年比94.5%、5,865千円の減で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、会員のご努力により、1億円を確保することが出来ました。

当センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、ともに助け合い、地域社会の支えとして、町、関係者のご指導ご支援を賜わりまして、シルバー人材センター会員と役職員が一丸となって就業機会の確保と円滑な事業推進に努め地域社会に貢献してまいります。

以下、令和2年度事業実績状況をご報告申し上げます。

